学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー												備考
			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学［生・応］	◎			○	○	○	○		○	○	○	◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学［数・情］	◎			○	○	○	○		○	○	○	◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学［先］	◎			○	○	○	○		○	○	○	◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学［電・ス］	◎			○	○	○	○		○	○	○	◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学［土］	◎			○	○	○	○		○	○	○	◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学［建］	◎			○	○	○	○		○	○	○	◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学（技術者としての倫理）［生・応］	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学（技術者としての倫理）［数・情］	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学（技術者としての倫理）［先］	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学（技術者としての倫理）［電・ス］	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学（技術者としての倫理）［土］	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学（技術者としての倫理）［建］	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
教養	共通_基幹_基礎	自校史	◎			○	◎	◎		○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	文学Ⅰ［A］	◎			○		○	◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	文学Ⅰ［B］	◎			○		○	◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	文学Ⅱ［A］	◎			○		○	◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	文学Ⅱ［B］	◎			○		○	◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	哲学Ⅰ［A］	◎			○		○	◎	○	◎		○	○	
教養	共通_基幹_基礎	哲学Ⅰ［B］	◎			○		○	◎	○	◎		○	○	
教養	共通_基幹_基礎	哲学Ⅰ［C］	◎			○		○	◎	○	◎		○	○	
教養	共通_基幹_基礎	哲学Ⅱ［A］	◎			○		○	◎	○	◎		○	○	
教養	共通_基幹_基礎	哲学Ⅱ［B］	◎			○		○	◎	○	◎		○	○	
教養	共通_基幹_基礎	哲学Ⅱ［C］	◎			○		○	◎	○	◎		○	○	
教養	共通_基幹_基礎	歴史学Ⅰ	◎		○	○	○	○	◎		○		○	○	
教養	共通_基幹_基礎	歴史学Ⅱ	◎		○	○	○	○	◎		○		○	○	
教養	共通_基幹_基礎	論理学Ⅰ	◎			○			◎	○	○			○	
教養	共通_基幹_基礎	論理学Ⅱ	◎			○			◎	○	○			○	
教養	共通_基幹_基礎	文化人類学Ⅰ	◎		○	○	○	◎		○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	文化人類学Ⅱ	◎		○	○	○	◎		○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	サウンドスケープデザイン	◎			○		○			○		○	○	2017年度から廃止
教養	共通_基幹_基礎	経済学Ⅰ［A］	◎			○			○		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	経済学Ⅰ［B］	◎			○			○		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	経済学Ⅱ［A］	◎			○			○		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	経済学Ⅱ［B］	◎			○			○		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	社会学［A］	◎			○	○	○	◎		○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	社会学［B］	◎			○	○	○	◎		○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	社会福祉論［A］	◎			○	○	○	◎		○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	社会福祉論［B］	◎			○	○	○	◎		○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	法学［A］	◎			○			◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	法学［B］	◎			○			◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	法学	◎			○			◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	憲法［A］	◎			○			◎		○			○	
教養	共通_基幹_基礎	憲法［B］	◎			○			◎		○			○	
教養	共通_基幹_基礎	憲法	◎			○			◎		○			○	
教養	共通_基幹_基礎	政治学Ⅰ［A］	◎			○	○		◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	政治学Ⅰ［B］	◎			○	○		◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	政治学Ⅱ［A］	◎			○	○		◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	政治学Ⅱ［B］	◎			○	○		◎		○	○		○	
教養	共通_基幹_基礎	心理学Ⅰ［A］	◎			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	心理学Ⅰ［B］	◎			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	心理学Ⅱ［A］	◎			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	心理学Ⅱ［B］	◎			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	心理学Ⅰ［C］	◎			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	心理学Ⅰ［D］	◎			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	心理学Ⅱ［C］	◎			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 地域に関する知識・理解	技能 4 問題発見・解決力	5 国際協働力	思考・判断・表現 6 多文化での共生	7 倫理観、公平・公正な判断	8 傾聴と発信	関心・意欲・態度 9 生涯学び続ける意欲	10 社会参加への主体性	11 チームワーク、他者との協働	12 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
教養	共通_基幹_基礎	心理学Ⅱ［D］	◎			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	教養セミナ［A］	◎			○	○	○	○		○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	教養セミナ［B］	◎			○	○	○	○		○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	Japanese Culture and Society Ⅰ	◎			○	◎	◎		○	○	○	○	○	2021年度休講
教養	共通_基幹_基礎	Japanese Culture and Society Ⅱ	◎			○	◎	◎		○	○	○	○	○	2021年度休講
教養	共通_基幹_基礎	総合コースⅠ	◎			○		○			○			○	2017年度から廃止
教養	共通_基幹_基礎	総合コースⅢ	◎			○		○	◎		○	◎		○	2017年度から廃止
教養	共通_基幹_基礎	総合コースⅣ	◎			○	○		◎		○			○	2017年度から廃止
教養	共通_基幹_基礎	英語コミュニケーション論	◎			○	○	◎		○	○	○	○	○	2017年度から廃止
教養	共通_基幹_基礎	国際コミュニケーション論	◎			○	○	◎		○	○	○	○	○	2017年度から廃止
教養	共通_基幹_基礎	【認定】ソーシャルサービス［春学期開講］	○			○	○	○	○		○	◎		◎	
教養	共通_基幹_基礎	【認定】ソーシャルサービス［秋学期開講］	○			○	○	○	○		○	◎		◎	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン入門［数・土・建］	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠA	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠB	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠC	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡA	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡB	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡC	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ応用Ⅰ	◎			○		○			○	○	○	○	
教養	共通_基幹_基礎	【神奈川県情報ｻｰﾋﾞｽ産業協会協力講座】かながわ学(IT産業)	◎			○		○	◎		○	○		○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（行政）	○	○	◎	○		○			○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（経済）	○		◎	○		○			○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（政治）	○		◎	○		○			○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（スポーツ）	○		◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（歴史・文化）	○		◎	○		○			○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（自然）	○		◎	○		○			○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（健康）	○		◎	○		○			○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（地域づくり）	○	○	◎	○		○			○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（地域安全）	○	○	◎	○		○			○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学（コミュニティ）	○	○	◎	○		○			○	○	○	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［A］（バスケットボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［B］（バレーボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［C］（バドミントン）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［D］（テニス）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［E］（バドミントン）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［F］（サッカー）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［G］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［H］（サッカー）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［I］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［J］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［K］（バスケットボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅠ［L］（運動処方）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［A］（バスケットボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［B］（バレーボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［C］（バドミントン）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［D］（バドミントン）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［E］（バドミントン）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［F］（サッカー）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［G］（サッカー）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［H］（バスケットボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［I］（フットサル）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［J］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［K］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ［L］（運動処方）	○			○				○	○	○	◎	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー												備考
			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅢ［A］（テニス）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅢ［B］（フットサル）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅢ［C］（バスケットボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅢ［D］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅢ［E］（サッカー）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅢ［F］（バドミントン）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅣ［A］（サッカー）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅣ［B］（ニュースポーツ）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅣ［C］（バレーボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅣ［D］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅣ［E］（バレーボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅣ［F］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅤ［A］（テニス）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅤ［B］（卓球）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅥ［A］（バスケットボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅥ［B］（バレーボール）	○			○				○	○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	武道指導論Ⅰ	○			○					○	○	◎	○	
保健体育	共通_基幹_基礎	武道指導論Ⅱ	○			○					○	○	◎	○	
外国語	共通_基幹_基礎	英語基礎I（グラマー）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	2017年度から廃止
外国語	共通_基幹_基礎	英語基礎Ⅱ（グラマー）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	2017年度から廃止
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［生・応・建A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［生・応・建B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［生・応・建C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［生・応・建D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［生・応・建E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［生・応・建F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［生・応・建G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［数・電・ス・情A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［数・電・ス・情B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［数・電・ス・情C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［数・電・ス・情D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［数・電・ス・情E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［数・電・ス・情F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［数・電・ス・情G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［先・土A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［先・土B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［先・土C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［先・土D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［先・土E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［先・土F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［再A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リーディング）［再B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［生・応・建A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［生・応・建B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［生・応・建C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［生・応・建D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［生・応・建E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［生・応・建F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［生・応・建G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［数・電・ス・情A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［数・電・ス・情B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［数・電・ス・情C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［数・電・ス・情D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［数・電・ス・情E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［数・電・ス・情F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー												備考
			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［数・電・ス・情G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［先・土A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［先・土B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［先・土C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［先・土D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［先・土E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［先・土F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［再A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［再B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（リスニング）［再C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建A1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建A2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建B1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建B2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建C1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建C2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土A1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土A2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土B1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土B2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土C1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土C2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情A1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情A2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情B1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情B2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情C1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情C2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［再A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［再B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［再C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［再D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建DE1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建DE2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建DE3］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建FG1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建FG2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［生・応・建FG3］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土DEF1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土DEF2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土DEF3］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［先・土DEF4］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情DE1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情DE2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情DE3］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情FG1］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情FG2］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（オーラルコミュニケーション）［数・電・ス・情FG3］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［生・応・建A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［生・応・建B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［生・応・建C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［先・土A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［先・土B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［先・土C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［数・電・ス・情A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 地域に関する知識・理解	技能 4 問題発見・解決力	5 国際協働力	思考・判断・表現 6 多文化での共生	7 倫理観、公平・公正な判断	8 傾聴と発信	関心・意欲・態度 9 生涯学び続ける意欲	10 社会参加への主体性	11 チームワーク、他者との協働	12 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［数・電・ス・情B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［数・電・ス・情C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［生・応・建D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［生・応・建E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［生・応・建F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［生・応・建G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［先・土D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［先・土E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［先・土F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［数・電・ス・情D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［数・電・ス・情E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［数・電・ス・情F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［数・電・ス・情G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［再A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［再B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［再C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［再D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語（ライティング）［再E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	英語講読（科学・基礎）［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	英語講読（科学・基礎）［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	英語講読（科学）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	英語講読（文学）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	資格英語（TOEIC基礎）［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	資格英語（TOEIC基礎）［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	資格英語（TOEIC中級）［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	資格英語（TOEIC中級）［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	資格英語（TOEIC上級）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	資格英語（技術英検）［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	資格英語（技術英検）［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	英語講読（時事英語）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	英語講読（論文）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	英語プレゼンテーションⅠ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	2017年度から廃止
外国語	共通_基幹_基礎	英語プレゼンテーションⅡ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	2017年度から廃止
外国語	共通_基幹_基礎	アカデミックライティングⅠ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	アカデミックライティングⅡ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	2021年度休講
外国語	共通_基幹_基礎	ビジネスイングリッシュ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	2017年度から廃止
外国語	共通_基幹_基礎	アカデミックプレゼンテーションⅠ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	アカデミックプレゼンテーションⅡ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	2021年度休講
外国語	共通_基幹_基礎	インターネットイングリッシュ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	2017年度から廃止
外国語	共通_基幹_基礎	オーラルコミュニケーションⅠ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	オーラルコミュニケーションⅠ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	オーラルコミュニケーションⅡ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	オーラルコミュニケーションⅡ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠA（文法）［C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠA（文法）［E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠA（文法）［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠA（文法）［F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠA（文法）［D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠA（文法）［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠA（文法）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠB（文法）［C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠB（文法）［E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠB（文法）［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠB（文法）［F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅠB（文法）［D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー												備考
			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ＩＢ（文法）［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ＩＢ（文法）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＡ（読解）［E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＡ（読解）［F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＡ（読解）［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＡ（読解）［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＡ（読解）［C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＡ（読解）［D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＡ（読解）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＢ（読解）［E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＢ（読解）［F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＢ（読解）［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＢ（読解）［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＢ（読解）［C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＢ（読解）［D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡＢ（読解）	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅢＡ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅢＢ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	フランス語ＩＡ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	フランス語ＩＡ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	フランス語ＩＢ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	フランス語ＩＢ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	フランス語ⅡＡ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	フランス語ⅡＡ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	フランス語ⅡＢ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	フランス語ⅡＢ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＡ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＡ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＡ［C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＡ［E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＡ［F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＡ［G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＡ［D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＡ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＢ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＢ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＢ［C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＢ［E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＢ［F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＢ［G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＢ［D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ＩＢ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ［C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ［E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ［F］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ［G］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ［D］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＡ［H］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＢ［A］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＢ［B］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＢ［C］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡＢ［E］	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 地域に関する知識・理解	技能 4 問題発見・解決力	5 国際協働力	思考・判断・表現 6 多文化での共生	7 倫理観、公平・公正な判断	8 傾聴と発信	関心・意欲・態度 9 生涯学び続ける意欲	10 社会参加への主体性	11 チームワーク、他者との協働	12 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡB[F]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡB[G]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡB[D]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡB	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語ⅡB[H]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	スペイン語ⅠA	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	スペイン語ⅠB	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	スペイン語ⅡA	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	スペイン語ⅡB	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ロシア語ⅠA	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ロシア語ⅠB	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ロシア語ⅡA	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	ロシア語ⅡB	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	日本語ⅠA	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	日本語ⅠB	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	日本語ⅡA	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	日本語ⅡB	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（英語）[春学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（中国語）[春学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（韓国語）[春学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（フランス語）[春学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（英語）[秋学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（中国語）[秋学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（韓国語）[秋学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（フランス語）[秋学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（ドイツ語）[春学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習（ドイツ語）[秋学期開講]	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[生･数･応A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[生･数･応B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[先A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[先B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[電･ス]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[情A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[情B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[建A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[建B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[建C]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[土A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅰ[土B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[生･数･応A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[生･数･応B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[先A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[先B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[電･ス]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[情A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[情B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[建A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[建B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[建C]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅰ[生]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅰ[数]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅰ[応･先･土･建B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅰ[電･ス]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅰ[情A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 地域に関する知識・理解	技能 4 問題発見・解決力	5 国際協働力	思考・判断・表現 6 多文化での共生	7 倫理観、公平・公正な判断	8 傾聴と発信	関心・意欲・態度 9 生涯学び続ける意欲	10 社会参加への主体性	11 チームワーク、他者との協働	12 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅰ［応･先･土･建C］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅰ［応･先･土･建A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅰ［情B］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ［生･応］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ［数］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ［先･土･建B］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ［電･ス］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ［情A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ［先･土･建C］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ［先･土･建A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ［情B］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	代数学ⅠA	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	代数学ⅠB	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	代数学ⅡA	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	幾何学ⅠA	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	幾何学ⅠB	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	幾何学ⅡA	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	微分方程式	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	ベクトル解析	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	数理統計学Ⅰ［A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	数理統計学Ⅰ［B］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	数理統計学Ⅱ［A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	数理統計学Ⅱ［B］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	複素関数論Ⅰ	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	複素関数論Ⅱ	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［生･応B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［生･応B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［先･土A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［先･土B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［先･土B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［先･土B3］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［数･電･ス･情A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［数･電･ス･情B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［数･電･ス･情B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［数･電･ス･情B3］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［建A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［建B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅰ［建B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅱ［B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅱ［B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［生･応B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［生･応B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［先･土A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［先･土B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［先･土B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［先･土B3］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［数･電･ス･情A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［数･電･ス･情B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［数･電･ス･情B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［数･電･ス･情B3］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［建A］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［建B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ［建B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅳ［B1］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	物理学Ⅳ［B2］	○	◎		◎			○	○	○		○	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 地域に関する知識・理解	技能 4 問題発見・解決力	5 国際協働力	思考・判断・表現 6 多文化での共生	7 倫理観、公平・公正な判断	8 傾聴と発信	関心・意欲・態度 9 生涯学び続ける意欲	10 社会参加への主体性	11 チームワーク、他者との協働	12 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
専門基幹	共通_基幹_基礎	化学Ⅰ[A]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	化学Ⅰ[B]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	化学Ⅰ[生]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	化学Ⅰ[応]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	生物学Ⅰ[生]	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	生物学Ⅰ	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	栽培Ⅰ（実習を含む）	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	栽培Ⅱ（実習を含む）	○	◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	機械工学総論Ⅰ	○	◎		○			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	機械工学総論Ⅱ	○	◎		○			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	木材加工Ⅰ（製図を含む）		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	木材加工Ⅱ（実習を含む）		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	金属加工Ⅰ（製図を含む）		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	金属加工Ⅱ（実習を含む）		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	機械実習		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	電気工学総論Ⅰ	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	電気工学総論Ⅱ	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	電気実習		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[生･応A]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[生･応B]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[数･土]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[先A]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[先B]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[電･ス]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[情A]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[情B]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[建A]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅰ[建B]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅱ[生･応A]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅱ[生･応B]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅱ[数･土]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅱ[先A]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅱ[先B]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅱ[電･ス･建B]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅱ[電･ス･建A]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習Ⅱ[情]		◎		◎			○	○	○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報概論（情報社会及び情報倫理）[A]	○	◎		○			○		○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報概論（情報社会及び情報倫理）[B]	○	◎		○			○		○	○	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	プログラミング基礎[生･応･電･土･建]		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	プログラミング基礎[数]		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	プログラミング基礎[総･自･ロ･ス]		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	プログラミング基礎[情]		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	プログラミング応用[生･数･応･電･土･建]		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	プログラミング応用[総･自･ロ･ス]		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	プログラミング応用[情]		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	Webプログラミング[情]		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	Webプログラミング		◎		◎			○	○	○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境生態学[生･応]	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境生態学	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境と化学	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境地球科学Ⅰ[理]	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境地球科学Ⅰ[土･建]	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境地球科学Ⅱ	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境社会論	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境フィールド演習		◎		◎			○	○	○		○	○	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 地域に関する知識・理解	技能 4 問題発見・解決力	5 国際協働力	思考・判断・表現 6 多文化での共生	7 倫理観、公平・公正な判断	8 傾聴と発信	関心・意欲・態度 9 生涯学び続ける意欲	10 社会参加への主体性	11 チームワーク、他者との協働	12 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境と法	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	環境マネジメント	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	理工学概論［建］	○	◎		○			○		○		○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	インターンシップA	○	◎		◎		○		○	○	◎	◎	○	2021年度から廃止
専門基幹	共通_基幹_基礎	インターンシップB	○	◎		◎		○		○	○	◎	◎	○	2020年度から廃止
全学共通科目	共通科目	【認定】KGUインターンシップⅠ（事前指導）［建］	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	【認定】KGUインターンシップⅡ（実習）［建］	○			○		○		○	○	◎	○	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	職業指導1［理工／建築・環境学部開講］	○	◎		◎		○		○	○	◎	◎	○	
専門基幹	共通_基幹_基礎	職業指導2［理工／建築・環境学部開講］	○	◎		◎		○		○	○	◎	◎	○	
専門基礎	専門基礎	基礎数学Ⅰ［A］	○	◎		○		○			○			◎	
専門基礎	専門基礎	基礎数学Ⅰ［B］	○	◎		○		○			○			◎	
専門基礎	専門基礎	基礎数学Ⅱ［A］	○	◎		○		○			○			◎	
専門基礎	専門基礎	基礎数学Ⅱ［B］	○	◎		○		○			○			◎	
専門基礎	専門基礎	基礎数学Ⅲ	○	◎		○		○			○			◎	
専門基礎	専門基礎	文系のための建築数学・物理	○	◎		○		○			○			◎	2021年度休講
専門基礎	専門基礎	ドローイングワークショップ	○	◎		◎					○			◎	
専門基礎	専門基礎	モデリングワークショップ	○	◎		◎					○			◎	
専門基礎	専門基礎	ビルディング・ワークショップ	○	◎	◎	◎			○	○	○	○	◎	◎	
専門基礎	専門基礎	ランドスケープデザイン・ワークショップ	○	◎	◎	◎		○		◎	○	◎	○	○	
専門基礎	専門基礎	建築法規A	○	◎	◎	○			◎		○			◎	
専門基礎	専門基礎	建築法規B	○	◎	◎	○			◎		○			◎	
専門基礎	専門基礎	CAD演習Ⅰ［A］		◎		◎					○			◎	
専門基礎	専門基礎	CAD演習Ⅰ［B］		◎		◎					○			◎	
専門基礎	専門基礎	CAD演習Ⅱ［B］		◎		◎					○			◎	
専門基礎	専門基礎	CAD演習Ⅱ［A］		◎		◎					○			◎	
専門基礎	専門基礎	CAD演習Ⅲ		◎		◎					○			◎	2021年度休講
専門基礎	専門基礎	測量学及び実習		◎	○	○					○		◎	◎	
専門基礎	専門基礎	建築設計製図Ⅰ	○	◎		◎		○	◎	◎	○			◎	
専門基礎	専門基礎	建築設計製図Ⅱ	○	◎		◎		○	◎	◎	○			◎	
専門基礎	専門基礎	建築設計製図Ⅲ	○	◎	○	◎		○	◎	◎	○			◎	
専門基礎	専門基礎	建築設計製図Ⅳ	○	◎	○	◎		○	◎	◎	○			◎	
専門応用	コース・コア	住宅ケーススタディ演習	◎	◎		◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○	○	2021年度休講
専門応用	コース・コア	建築構法設計製図		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	コース・コア	建築構造設計製図		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	コース・コア	ハウジングデザインスタジオ	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	○	○	○	○	
専門応用	コース・コア	地域施設デザインスタジオ	◎	◎	◎	◎		○	◎	◎	○	◎	○	○	
専門応用	コース・コア	建築再生デザインスタジオ	◎	◎	◎	◎		○	◎	◎	○	○	○	○	
専門応用	コース・コア	都市再生デザインスタジオ	○	◎	◎	◎		○	◎	◎	○	◎	○	○	
専門応用	コース・コア	住宅インテリアデザインスタジオ	◎	◎		◎		◎	◎	◎	○	○	○	○	
専門応用	コース・コア	住宅設計スタジオ	◎	◎	○	◎		○	◎	◎	○	○	○	○	
専門応用	コース・コア	パッシブデザインスタジオ		◎		◎			◎	◎	○		○	○	
専門応用	コース・コア	建築環境デザインスタジオ		◎		◎			◎	◎	○	○	○	○	
専門応用	コース・コア	建築・都市デザインスタジオ	○	◎	◎	◎		○	◎	◎	○	○	○	○	
専門応用	コース・コア	すまいデザインスタジオ	◎	◎	○	◎		○	◎	◎	○	○	○	○	
専門応用	デザイン	建築計画・デザイン基礎	◎	◎		○		○	○		○	○	○	○	
専門応用	デザイン	建築計画Ⅱ	◎	◎		○		○	◎	○	○			○	
専門応用	デザイン	建築計画Ⅰ	◎	◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	○	
専門応用	デザイン	建築デザイン論	○	◎		○		○	◎		○			○	
専門応用	デザイン	建築再生計画論	◎	◎		◎	○	○	◎	○	○	○		○	
専門応用	デザイン	ランドスケープ論	○	◎	○	○		○		○	○	○	○	○	
専門応用	デザイン	サウンドスケープデザイン	◎	○		○		○			○		○	○	2021年度休講
専門応用	デザイン	不動産学基礎		◎		○			◎		○	○		○	
専門応用	デザイン	都市形成史	○	◎	◎	○	○	○			○	◎		○	
専門応用	デザイン	アーバンデザイン	○	◎	○	◎	○		◎	○	○	◎	○	○	
専門応用	デザイン	都市・地域計画論	○	◎	◎	○			◎	○	◎	◎		○	2021年度休講

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 地域に関する知識・理解	技能 4 問題発見・解決力	5 国際協働力	思考・判断・表現 6 多文化での共生	7 倫理観、公平・公正な判断	8 傾聴と発信	関心・意欲・態度 9 生涯学び続ける意欲	10 社会参加への主体性	11 チームワーク、他者との協働	12 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
専門応用	デザイン	家族論	◎	◎		○		◎	○		◎	○		○	
専門応用	デザイン	すまいデザイン論	○	◎		◎		○	○		◎	○	○	○	
専門応用	デザイン	住居史	◎	◎		◎		◎	○		◎			○	
専門応用	デザイン	インテリアデザイン	○	◎		◎		◎		○	◎		○	○	2021年度休講
専門応用	デザイン	ファーニチャーデザイン	○	◎		◎		◎		○	◎		○	○	2021年度休講
専門応用	デザイン	日本建築史	○	◎	○	○		◎	○		○			○	
専門応用	デザイン	西洋建築史	○	◎		○	○	◎	○		○			○	
専門応用	デザイン	近代建築史	○	◎		○	○	◎	○		○			○	
専門応用	デザイン	建築理論史	○	◎		○		◎	○	○	○			○	2021年度休講
専門応用	デザイン	まちづくり論［建］	○	◎		○		◎	○	○	○			○	
専門応用	デザイン	環境デザイン概論A	○	◎		○		◎	○	○	○			○	新設科目
専門応用	デザイン	環境デザイン概論B	○	◎		○		◎	○	○	○			○	新設科目
専門応用	構造	フレームの力学基礎［A］	○	◎	○	○			◎		○			○	
専門応用	構造	フレームの力学基礎［B］	○	◎	○	○			◎		○			○	
専門応用	構造	フレームの力学Ⅰ［A］		◎		○			◎		○			○	
専門応用	構造	フレームの力学Ⅰ［B］		◎		○			◎		○			○	
専門応用	構造	静定フレーム演習		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	構造	フレームの力学Ⅱ		◎		○			◎		○			○	
専門応用	構造	フレームの力学Ⅲ		◎		○			◎		○	○		○	
専門応用	構造	不静定フレーム演習		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	構造	建築構造計画	○	◎	◎	○	○	○	◎		○	○	○	○	
専門応用	構造	鉄骨構造		◎	○	◎	○	○	◎		○			○	
専門応用	構造	鉄筋コンクリート構造		◎	○	◎	○	○	◎		○			○	
専門応用	構造	木質構造		◎	○	◎	○	○	◎		○			○	新設科目
専門応用	構造	建築構造実験		◎		◎			◎	◎	○		◎	○	
専門応用	構造	建築耐震工学概論	○	○	◎	○		○	◎		○	○	○	○	
専門応用	構造	建築振動学		◎	○	◎			◎		○			○	
専門応用	構造	構造解析学［建］		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	構造	基礎・地盤力学	○	◎	○	○			◎		○			○	
専門応用	構造	地震工学概論	○	○	◎	○	○		◎		○			○	
専門応用	構造	構造設計Ⅰ	○	◎	○	◎			◎		○	○	○	○	
専門応用	構造	構造設計Ⅱ	○	◎	○	◎			◎	○	○	○	○	○	
専門応用	材料・施工	建築生産・材料基礎	○	◎	○	○			◎		○			○	
専門応用	材料・施工	建築材料学Ⅰ	○	◎		○			◎		○			○	
専門応用	材料・施工	建築材料学Ⅱ		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	材料・施工	建築材料実験		◎		◎			◎	◎	○		◎	○	
専門応用	材料・施工	インテリア材料・施工	○	◎		○			◎		○			○	2021年度休講
専門応用	材料・施工	建築構法Ⅰ	○	◎		○			◎		○			○	
専門応用	材料・施工	建築構法Ⅱ		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	材料・施工	建築施工学Ⅰ	○	◎		○			◎		○			○	2021年度休講
専門応用	材料・施工	建築施工学Ⅱ		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	材料・施工	施工演習		◎		◎			◎		○			○	
専門応用	材料・施工	建築生産		◎		◎			◎		○			○	新設科目
専門応用	材料・施工	建築病理学	○	◎		○			◎		○			○	
専門応用	材料・施工	ファシリティ・マネジメント	◎	◎	◎	◎			◎	◎	○	◎	◎	◎	
専門応用	環境・設備	建築環境・設備基礎	◎	◎		○					○			◎	
専門応用	環境・設備	建築熱環境		◎		○					○			◎	
専門応用	環境・設備	建築光・音環境		◎		○					○			◎	
専門応用	環境・設備	建築水環境		◎		○					○			◎	
専門応用	環境・設備	建築空気環境		◎		○					○			◎	
専門応用	環境・設備	電気設備論		◎		○					○			◎	
専門応用	環境・設備	都市環境		◎	○	○					○			◎	2021年度休講
専門応用	環境・設備	建築・地球環境論		◎	○	○					○			◎	
専門応用	環境・設備	建築環境・設備応用		◎		◎			○		○			◎	2021年度休講
専門応用	環境・設備	建築設備計画		◎		◎			○		○			◎	

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。
（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 地域に関する知識・理解	技能 4 問題発見・解決力	5 国際協働力	思考・判断・表現 6 多文化での共生	7 倫理観、公平・公正な判断	8 傾聴と発信	関心・意欲・態度 9 生涯学び続ける意欲	10 社会参加への主体性	11 チームワーク、他者との協働	12 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
専門応用	環境・設備	パッシブデザイン		◎	○	○					○			◎	
専門応用	環境・設備	環境設備リニューアル		◎		○					○			◎	
専門応用	環境・設備	環境設備維持保全		◎		○			○		○			◎	2021年度休講
専門応用	環境・設備	建築環境・設備実験		◎		◎					○		◎	◎	
専門応用	環境・設備	環境シミュレーション		◎		◎					○			◎	
専門応用	環境・設備	建築設備・設計演習		◎		◎					○			◎	
専門応用	環境・設備	建築環境エネルギー		◎		○			○		○			◎	
専門応用	環境・設備	資源リサイクル		◎		○			○		○			◎	2021年度休講
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中津 秀之
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	酒谷 粋将
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中島 正夫
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	大塚 雅之
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	高島 英幸
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	古賀 紀江
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	黒田 泰介
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	遠藤 智行
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	渡部 洋
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	粕谷 淳司
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	神戸 渡
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	山口 温
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	李 祥準
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	柳澤 潤
専門応用	コモン	ゼミナール（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中村 秀親
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中津 秀之
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	酒谷 粋将
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中島 正夫
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	大塚 雅之
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	高島 英幸
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	古賀 紀江
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	黒田 泰介
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	遠藤 智行
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	渡部 洋
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	粕谷 淳司
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	神戸 渡
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	山口 温
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	李 祥準
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	柳澤 潤
専門応用	コモン	ゼミナール（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中村 秀親
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中津 秀之
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	酒谷 粋将
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中島 正夫
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	大塚 雅之
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	高島 英幸
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	古賀 紀江
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	黒田 泰介
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	遠藤 智行
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	渡部 洋
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	粕谷 淳司
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	神戸 渡
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	山口 温
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	李 祥準
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	柳澤 潤
専門応用	コモン	卒業研究［建］（春学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中村 秀親
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中津 秀之
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	酒谷 粋将

学位授与方針と各科目の関連（建築・環境学部建築・環境学科）

建築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域12項目及び各コースの能力）を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。

◆知識・理解
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※）を身につけている。（幅広い教養）
（※）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。（専門分野に関する知識・理解）
3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。（地域に関する知識・理解）

◆技能
4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。（問題発見・解決力）
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（国際協働力）

◆思考・判断・表現
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。
（多文化での共生）
7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（倫理観、公平・公正な判断）
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。（傾聴と発信）

◆関心・意欲・態度
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（生涯学び続ける意欲）
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（社会参加への主体性）
11. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。（建学の精神の実践、奉仕動機）

更に、各コースの方針を次のように定める。
1. 建築デザインコース
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン（設計）を実践できる感性と能力を身につけている。
2. 建築エンジニアリングコース
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。
3. 環境共生デザインコース
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる能力を身につけている。
4. まちづくりデザインコース
良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性と能力を身につけている。
5. すまいデザインコース
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。

科目区分	分野	時間割名	ディプロマ・ポリシー												備考
			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）												
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中島 正夫
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	大塚 雅之
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	高島 英幸
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	古賀 紀江
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	黒田 泰介
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	遠藤 智行
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	渡部 洋
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	粕谷 淳司
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	神戸 渡
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	山口 温
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	李 祥準
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	柳澤 潤
専門応用	コモン	卒業研究［建］（秋学期クラス）	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	中村 秀親